

ステークホルダーとのコミュニケーション

オリンパスでは、経営理念「Social IN」の実現に向け、社会の声を経営に取り入れ、社会と価値観を共有するため、日常の活動の中で、ステークホルダーの声をお伺いしています。

また、有識者との対話も進めながら、中長期的なCSR課題の抽出に取り組んでいます。

ステークホルダーの皆さまとの主なコミュニケーション

お客さま

医療・科学・映像の3事業において、お客さまとの対話を通じて、多様な要求から潜在ニーズまでを正しく理解し、製品・サービスをスピーディーに提案・提供することに努めています。

各事業で国内外にお客さま専用のコールセンターを設置しお客さまの課題解決のサポートなどを行うほか、セミナーの開催などお客さまと接する機会の拡大にも取り組んでいます。

株主・投資家さま

経営方針、財務状況、事業活動状況、CSR活動などの企業情報を公正、適時適切かつ積極的に開示しています。決算発表にあたっては、決算説明会の開催や決算資料の公開とともに、Webサイトを活用して決算説明会のプレゼンテーション資料および、質疑応答を含めた決算説明会の動画も配信しています。

投資家情報 <http://www.olympus.co.jp/jp/ir/>

お取引先さま

各事業に関わる国内の主要なサプライヤーさまに対して、毎年1回、「調達方針説明会」を開催し、オリンパスグループの経営戦略や調達方針の共有を図っています。

また、コンプライアンスに関する通報や相談をいただく窓口「コンプライアンスヘルプライン」は、サプライヤーさまもご利用いただけます。

従業員・家族

職場の意見や課題を吸い上げるとともに、経営層の考えや思いを従業員に直接伝える重要な機会として、従業員と役員が対話を交わすタウンミーティングを積極的に開催しています。

また、継続的な企業風土の検証と改善を目的として、従業員を対象とした意識調査を実施し、その結果から従業員と家族にも参加いただける全社イベントを実施するなどの取り組みにつなげています。

地域社会

事業場近隣のコミュニティー、学校、企業など幅広いステークホルダーにオリンパスの活動を知っていただくため、各種の地域活動に積極的に参画しています。また、事業場の特性に応じて、会社見学や職業体験学習の受け入れ、学校への講師派遣、地域行事への参加や協力なども実施しています。

国際社会・市民社会

2012年よりニッポンCSRコンソーシアム「人権デューディリジェンスワークショップ」に参画し、NGO・NPOとも協力して、人権課題の検討を行っています。また、さまざまなNGO・NPO・学生団体、国際機関、政府機関・行政などと協働して、ミレニアム開発目標 (MDGs) 達成への協力を行ったほか、各種の社会貢献活動を実施しています。